

町家再生は「やっかい」やけど「おもしろい」！ ～人が集う。町家が「新しい公共」空間になる。～

なぜ、吉田孝次郎は町家を再生したのか？

なぜ、女性社会起業家は町家を選んだのか？

なぜ、自らの手で天井や壁の合板をはぎ取り再生しているのか？

町家再生の実践者が、その魅力を語る！



日時 **2009年4月27日(月) 13:30-16:00**

会場 **京町家 さいりん館 室町二条** (中京区室町通二条上ル東側)

*参加無料、申し込み不要、直接会場へお越しください

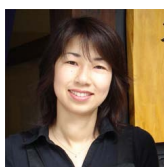


第1部 トークセッション「町家再生の魅力を語る」 13:30 -14:30



吉田 孝次郎 京都生活工芸館 無名舎 代表

「北観音山」町内に生まれ育ち、戦後、祇園祭の再開時より囃子方をつとめる。学生時代を武蔵野美術学校に学び、昭和47年帰京。生家の町家を修復改修すると共に祇園祭の装飾品の研究に従事。渡来染織史研究家、祇園祭山鉦連合会 副理事長、明倫自治連合会 会長、NPO法人うつくしい京都理事長、72歳



西村 和代 環境共育事務所カラース 代表

京野菜の賀茂茄子やすぐきの産地、市内北部の上賀茂で生まれ育つ。大学生時代は、YMCAのボランティアリーダーとして子どもの体験活動に携わる。環境共育事務所カラース設立後は、地域や生協活動などでネットワークを拡げながら、<いのち>の営みと、人とのつながりを大切に多方面で活動。いけばな嵯峨御流正教授。同志社大学大学院に在籍し、学生の顔を持つ41歳。



三田 果菜 Happy Beauty Project 代表

京都生まれ。理美容業の魅力とトータルで学ぶことの大切さを知り高校・大学時代にヘア・メイク・ネイル etc を学ぶ。現在は「女性が元気になる」ことは「まちやコミュニティを元気にする。美容術を使ってまちと女性を元気にしたい!」と思いながら活動中。美容をツールとした企画・美容専門通訳も行う。Happy Beauty Project代表。美容師国家資格を持つ同志社大学大学院生。25歳。

コーディネーター

新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授

第2部 町家再生達人教室 講師 吉田孝次郎 14:40 -16:00

京町家「さいりん館」は、女性社会起業家としてこの町家から一歩を踏み出す西村和代さん、三田果菜さんと仲間たちによって改修作業の真っ最中です。5月1日のオープンに向け町家再生の達人吉田孝次郎さんを講師に町家の輝きを取り戻す仕上げの作業をみなさんと一緒にいきます。

(ぞうきん[手ぬぐい、タオルも可]がある方はご持参ください)